

「浪江町閉校小学校施設利活用事業公募型プロポーザル」の結果をお知らせします

町は、閉校が予定されている学校施設の在り方について、令和元年11月21日に受理した「浪江町立学校校舎等検討委員会」の答申や、町民を対象とした意見公募などを踏まえ、浪江・幾世橋・大堀・苅野小学校および浪江中学校について検討を進めてきました。なお、なみえ創成小学校・中学校(旧浪江東中学校)、震災遺構としての活用が決定している請戸小学校、帰還困難区域にある津島小学校、津島中学校は除いています。

最終的な結論としては、東日本大震災による被害や老朽化などにより活用が難しいことから、やむを得ず解体することとし、比較的新しい幾世橋・大堀小学校の校舎については、民間事業者への売却による施設利活用の可能性を確認するため、民間事業者が保有する技術や資金を活用した地域活性化につながる事業計画を広く募集してきました。このたびは、募集結果や今後の方針などについてお知らせします。

公募の経過

- ①募集期間 3月6日～31日
- ②応募状況 幾世橋小学校…応募1者
大堀小学校…応募2者(1者は幾世橋小学校の応募者と同一)
- ③応募後の動き
 - 5月11日に、幾世橋・大堀小学校の利用に応募していた1者からの辞退届を受理しました。
 - 事業提案書提出期限(5月15日)までに、大堀小学校の利用に応募していた残りの1者からの事業提案書の提出はありませんでした。
- ④公募の結果
 - 上記により、今回の公募が不成立となり、他の町立小・中学校と同様に解体することとなりました。

審査委員会の開催経過

公募型プロポーザル方式で施設を売却するにあたり、審査を公正かつ客観的に行い、企画力、技術力および事業の確実性などを有する事業者を選定するため、「浪江町閉校小学校施設利活用事業公募型プロポーザル審査委員会」を設置しました。

- ①第1回審査委員会(2月28日)
委員を委嘱後、公募内容、審査基準およびスケジュールを話し合いました。また、幾世橋・大堀小学校の現地確認を実施しました。
- ②第2回審査委員会
「新型コロナウイルス感染症」に伴う緊急事態宣言が発令されたことを受け、書面での開催となりました。審査の進め方や評価の方法などについて確認しました。
- ③第3回審査委員会(5月27日)
公募の経過および結果について確認しました。

学校の歴史残し

解体することとなった町立小・中学校について、解体前に校舎内外に残されている物品などを保存する「学校の歴史残し」を進めるとともに、長きにわたり地域と一緒に歩んできた学校に関する催しを下記のとおり開催します。詳しくは、町ホームページでお知らせします。皆さんの来校をお待ちしています。

- 日時 7月23日(木・祝)・24日(金・祝)・25日(土) 10時～15時
- 対象となる学校施設(現地までの移動は各自で対応)
浪江小学校・幾世橋小学校・大堀小学校・苅野小学校・浪江中学校
- 内容
 - 学校施設内の見学(校舎の状態により一部分のみ開放する場合あり)
 - 児童・生徒の所有物の返却 ●学校物品の譲渡(予定)

- ※児童・生徒の所有物の返却は、今回が最後となります。催し終了後は、処分することとなりますので、ご了承ください。
- ※学校物品の譲渡は、使用してもらうことを前提に譲渡するため、売却目的での譲渡は行いません。また、催し当日の譲渡は行いません。当日、対象となる学校施設において、担当者の立ち会いの下、譲渡の確認のみを行い、後日、譲渡することとなります。
- ※学校敷地内に「タイムカプセル」が埋められている可能性があります。掘り起こしていない「タイムカプセル」がありましたら、学校教育係まで連絡してください。

解体になる 町立小・中学校



浪江小学校



幾世橋小学校



大堀小学校



苅野小学校



浪江中学校

《閉校小学校施設利活用事業公募型プロポーザルについて》 問 企画財政課財政管財係 Tel 0240(34)0237
《学校の歴史残しについて》 問 教育委員会事務局学校教育係 Tel 0240(34)5710